

子ども達の豊かな成長・発達のために皆で力を合わせましょう！

豊中市 中学校教科書採択

8月4日、豊中市教育委員会会議が行われました。来年度から使用される中学校教科書の採択が行われました。

8月4日、豊中市教育委員会会議が行われました。来年度から使用される中学校教科書の採択が行われました。

来年度から使用される中学校教科書は左表のようになりました。全教は、本来、学校現場の教職員の声をもっと幅広く反映した形の教科書採択であるべきだと考えています。教育委員会会議の中では、それぞれの教育委員が、各科目

国語	東京書籍
書写	教育出版
社会 地理	日本文教出版
社会 歴史	教育出版
社会 公民	日本文教出版
地図	帝国
数学	東京書籍
理科	啓林館
音楽・一般	教芸
音楽・器楽合奏	教芸
美術	光村
保健体育	東京書籍
技術・家庭 (技術分野)	東京書籍
技術・家庭 (家庭分野)	東京書籍
英語	開隆堂

大阪市では 侵略戦争美化・憲法敵視の 育鵬社教科書を採択

8月5日、大阪市では育鵬社の歴史・公民の教科書が採択されました。教育委員会会議の傍聴

を別会場で設定し、映像と音声視聴とするなど異常な中で決定されました。付帯決議では、採択された育鵬社版教科書に加えて、帝国書院(歴史)、日本文教出版(公民)を副教材として使用できるように調整を図る(大森不二雄委員長の提言では大阪市予算で購入)としています。

侵略戦争を認めず、日本国憲法を敵視した教科書では、アジアや世界の人々と理解しあうことはできません。

戦争法案を許さない!

8.30 おおさか大集会

2015年8月30日(日) 16:00~

扇町公園

主催: 全教 豊中教職員組合

共催: 豊中市教育委員会

後援: 豊中市議会

お問い合わせ: 06-6865-3190

ウェブサイト: www.tcct.zaq.ne.jp

戦争のにおいがぶんぶん!
 今、国民が声をあげるときです。
 みんなで参加しましょう!
国会10万人行動
全国100万人行動
 列島騒然の国民の声を!

あの戦争はなんだったのか！ 歴史の事実を見つめ、真実を学び、語り継ごう！ 歴史金曲の安倍自民党政権 侵略戦争美化

国民を弾圧した 治安維持法

の実態

戦前の日本で社会運動や言論弾圧の最も強力な武器になったのが、治安維持法であり、それを使っただけで特別高等警察（特高）でした。

刑法上では死刑は0人となつています。しかし、死刑とは別に、治安維持法体制下において、明らかな非合法な拷問などによって虐殺行為が横行してしまいました。思想犯と言われた人たちが多く獄中で死亡した事実がこうし

治安維持法にかかわって

- 1925年 制定 目的「国体変革」（天皇制打倒）「私的財産制度の否定」（共産主義）を取り締まる
- 1928年 緊急勅令 最高刑が死刑に
- 1945年 8月 敗戦
- 1945年 10月 治安維持法廃止

公式の記録では

送検者 約75000人 起訴5162人
死刑 0人

が、実は、こんな実態が

- プロレタリア作家 小林多喜二 拷問による殺害
- 哲学者 三木清 豊多摩拘置所で病死（戦後9月）

取り調べ中などの明らかな虐殺 65人
拷問・虐待が原因とみられる獄死 114人
勾留・拘置中などの獄死 1503人

南京大虐殺

1937年12月、南京を日本軍は占領。南京周辺を占領した日本軍は、その際、多くの中国軍捕虜や非戦闘員を組織的に殺害しました。とらえた中国兵・住民を揚子江岸で銃殺して流したり、穴を掘って埋めたりすると



公安警察に虐殺された多喜二の遺体

たことを裏付けています。戦争中の治安維持法の弾圧被害を受けた犠牲者が、国に責任を認めさせ謝罪させる運動が今も続いています。戦後70年間、このことでも、きちんとした国の責任を果たしていないのが実態です。

ともに、略奪・放火・性暴力を多数引き起こしました。

南京攻略戦を指揮した第16師団長・中嶋今朝吾中将の日記に「大体捕虜はせぬ方針なれば、片端より之を片付くこととなしある」と捕虜を取らない方針であることと、16師団だけで2万4千人近くを処理（殺害）されたか、されようとしています。たことを記録しています。まだ、別の部隊の一兵士の日記でも

「支那兵の一部五千兵を揚子江の沿岸に連れ出し機関銃を以て射殺す、其の後銃剣にて思う存分突刺す！」

教職員投票を 成功させよう！

8月末日まで、あなたの職場でもぜひ、投票を！

これまでに寄せられた声からは大切な子どもたちを戦場に送ることとは絶対にしたくありません。平和のすばらしさを広げていくことのできる温かい子どもたちになってほしいです。

戦争で家族を失った人、故郷を失った人、人を殺めてしまったことへの自責の念をずっと抱え続けている人、終戦から70年経っても、その方々の心の傷が癒えることはありません。もうそんな辛い思いをこれ以上誰にさせてもいけません。「子どもたちを戦場に送るな！」武力で守らず、愛で子どもを日本を守ろう！

☆平和な国を引き継ぐことは私たちの使命だ。

☆ かわいいたくの子どもたち、そして、私の大切な家族、誰一人として戦争に行かせたくない大切な命です。

「南京大虐殺を記録した行軍兵士たち」（大月書店より）

「南京虐殺はでつち上げ！まぼろし！」こういった主張をした書籍がたくさんあります。歴史学的には根拠がありません。